

### 【コロナ時代における社会様式と実践】

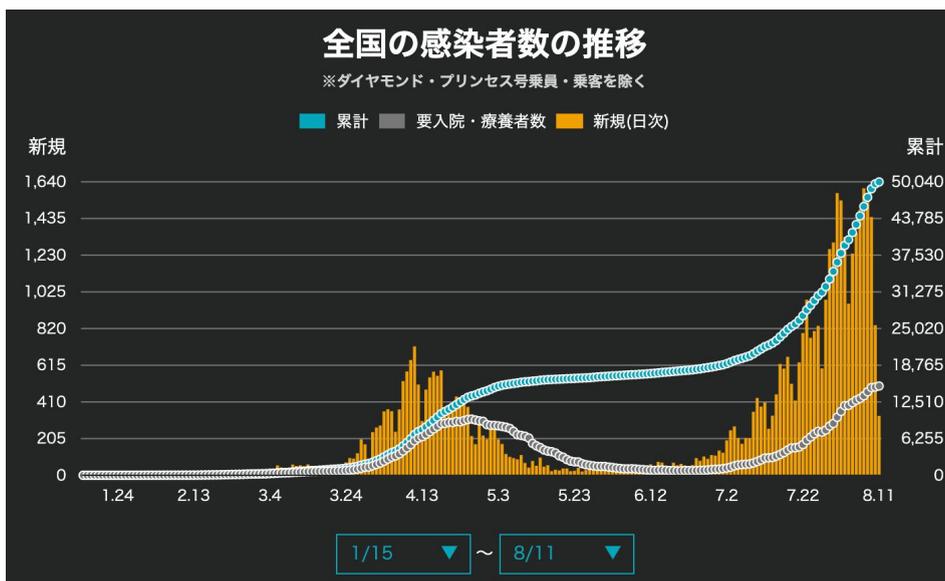
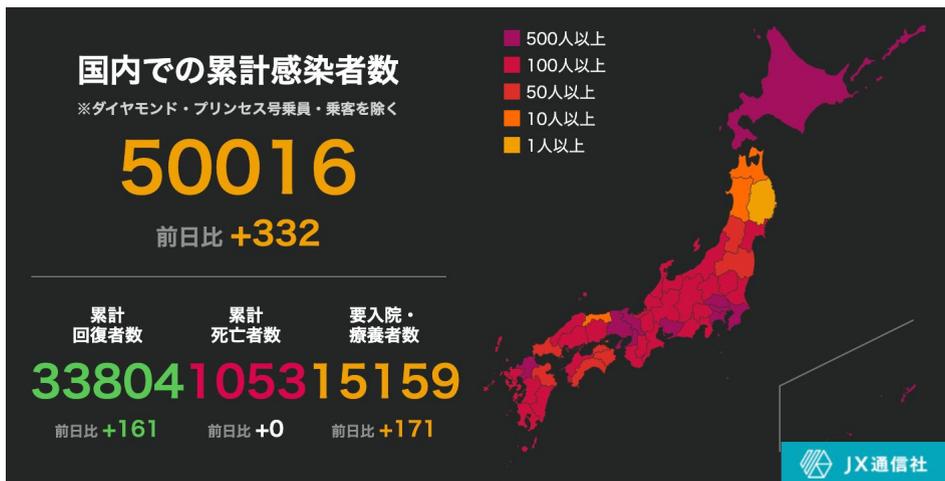
外出自粛要請が出たり、オンラインで会議したり、多くの人がコロナウイルスが流行る前には考えられなかったような生活を送っている。いつこの状況が治まるかは誰にも分からないし、コロナをきっかけに社会が変わってしまった。我々にできることは、ビフォーコロナの世界に戻ろうとすることではなく、新しい時代に相応しい社会様式を身に付けることではないだろうか。

The self-restraint request from the government, meeting online...many people are living their lives in a way that was unthinkable before the coronavirus epidemic. No one knows when this situation will go away, and society has changed in the wake of the corona. What we can do is not to try to return to a before-corona world, but to acquire a social style appropriate to the new era.

#### 1.事例

まずはコロナウイルスの現状からみていこう。

2019年12月に中国・武漢市にて新型コロナウイルスの発生が報告されて以来、ウイルスは世界中で広がりを見せている。世界保健機関(WHO)の発表によると、日本時間の2020年8月11日現在までに確認された感染者数はのべ1971万8030人、死者数は72万8013人にものぼる。国内では4月7日に非常事態が宣言、5月25日に全面解除となったが、現在1日あたりの感染者数は宣言期間も含め過去最高の人数を更新し続けており、累計感染者数は2020年8月11日現在50016人に達している。



国内での累計感染者数ならびに感染者数の推移 [3]より抜粋

この状況を受け、世界中で様々な生活様式が変わりつつある。代表的な例が、オンラインミーティングだろう。仕事のMTGから大学の授業、友達との会話まですべてオンラインになった昨今、そこでの様式やマナーは直接の会話のそれとは異なる。オンライン通話では胸より上辺りしか相手には映らないため、下はパジャマや部屋着のままの人が多いうのだ。大事なのはあくまで胸より上、特に顔の映りに対する工夫は多く見られる。オンラインミーティングで一気に利用されるようになったサービスと言えばZoomだが、それと併用される形で注目を浴びているのがSnap Cameraだ。顔周りに追従する形でフィルターを施し、その状態でZoomなどのオンラインミーティングサービスを利用できる仕組みとなっている。中では人間の顔からは大きく離れた加工もあるが、ここで注目したいのは「カメラ映りをちょっと良くする」加工だ。



左の写真が無加工の状態、右がフィルターをかけた状態だ。全体的に柔らかい印象にし、化粧を施したかのような加工だ。

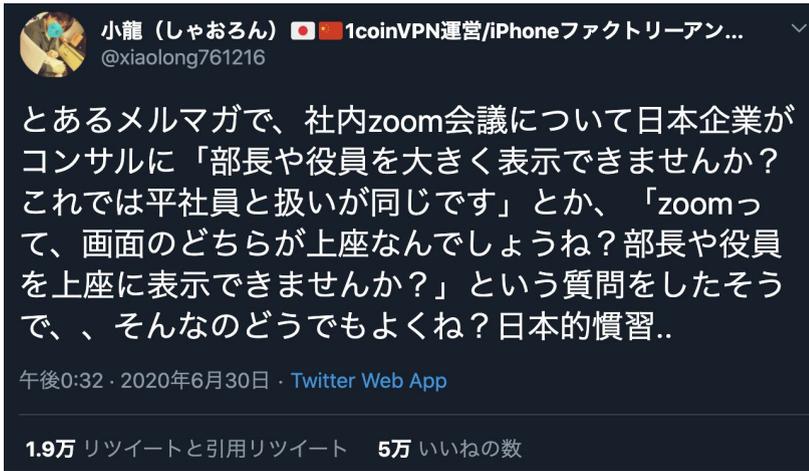
フィルターだけでなくフィジカルな空間での工夫も多く見られる。カメラの角度、照明によって随分と印象が異なり、そのノウハウをYoutubeにアップロードする人もいる。

<https://youtu.be/5m-1vjPiTjM>

これらはビフォーコロナでいう、化粧や洋服選びに相当する身だしなみの作法と言えるかもしれない。

これまで紹介したのはあくまで自主的な工夫だが、なかにはオンラインミーティングにて特殊なマナーを社内のお決まりとして設けるケースもある。

ひとつは実際に筆者が体験した話だ。私は今年就職活動をしていたのだが、面接もまた、Zoomを用いてのオンライン形式であった。とある面接で、開始時間にZoomのリンクを開くと、人事の方に「これから面接官を呼びますので起立してお待ち下さい」と言われたのだ。思わぬ指示に「え、起立？」と聞き返すと人事の方も「ですよ」と苦笑していた。言われたとおりPCの前でひとり、自室にて時間差で面接官数人が「入室」するのを待ち、皆が揃ったところで礼をしてから面接が始まった。面接終了時も皆で画面越しにお辞儀し、そのまま退出ボタンを押した。馬鹿げた話に聞こえるが、企業はこれまで何十年と対面で行ってきた面接をオンラインにせざるを得なくなり、できるかぎりこれまでの様子を再現しようと思ってされた試みなのであろう。面接を受けた身からすると、企業側の思惑とは異なるかもしれないが、アイスブレイクになり緊張がほぐれたという面ではたいへん助かり、また、一見馬鹿げている作法(失礼)ゆえにそれを会ったこともない未来の会社の上司とやることでぐっと距離が近づく感覚があった。他にも大学教員からは、学外のミーティングの際に偉い人から順に抜けていくマナーを強いられたと聞いた。こちらは電話のマナーから派生したものかもしれない。似たような話では、以下のtweetが話題となっていた。



話題となったツイートのスクリーンショット

(<https://twitter.com/xiaolong761216/status/1277807089683816451?s=20>)

このツイートに対し、なかば大喜利のように提案されたのがこの画像。



話題となったツイートより画像引用

(<https://twitter.com/yontengoP/status/1277858473783341056?s=20>)

権力を大ききで一枚絵に表した様子はまるでエジプト壁画であり、人間の敬いの表し方は時を超えても変わらぬようだ。

テレワークにおけるマナーについて記した本も複数発売され始めている。自分で判断すればよいのでは、と思う反面、こうした抛りどころがあると安心して仕事に臨むことできるひともいるのだろう。



超基本 テレワークマナーの教科書 (日本語) Amazonプレビュー写真より引用  
[https://www.amazon.co.jp/dp/486667234X/ref=cm\\_sw\\_em\\_r\\_mt\\_dp\\_z53nFbHRDAHQP](https://www.amazon.co.jp/dp/486667234X/ref=cm_sw_em_r_mt_dp_z53nFbHRDAHQP)

オフィスワークだけでなく、芸能の仕事もまた、オンラインに移行している。ひとつはリモート撮影だ。本来撮影は、出演者と技術スタッフのが両方存在するが、裏方の仕事もすべて表方に家でやってもらう形をとることも増えてきた。

例えば、ViVi8月号のこの表紙だが、水原希子とkemiolはそれぞれの家で撮影をし、それを編集部が編集し表紙を完成させている。



PRTIMES(<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000002678.000001719.html>)より画像引用

動画でも同様のことが行われている。こちらはタレント・フワちゃんが自宅で撮影した映像がCMになったものだ。家に送られてきたグリーンバックをタレント自らがセッティング、PC越しに監督の指示を受ける様は新時代の撮影そのものだ。

<https://youtu.be/0TfnYwazVAo>

また、大勢の人が集まるということで軒並み中止となっている音楽ライブだが、オンラインで行うケースも増えてきている。2020年6月25日に行われた『サザンオールスターズ 特別ライブ 2020 「Keep Smilin' ~皆さん、ありがとうございます!!~」』は8つのプラットフォームで同時配信され、有料配信チケット購入者数約18万人、推定視聴者数50万人以上と記録的な人数を動員した。通常のライブでは会場の大きさによって動員人数が制限されるが~。もちろん現場のライブの熱は格別だが、実際にサザンのライブを見た大学教員から、トイレの心配をすることなく、自宅で好きなお酒を飲みながらアーティストの曲を聞くのもまた充実した時間であったという声を聞いた。

しかしながら当然、「オフライン」の日常がなくなったわけではない。ここからは、実世界ではどのような変化が見られているか記していく。

アフターコロナから見られるようになった微笑ましい光景がある。ソーシャルディスタンスを保つため、店側がぬいぐるみをひと席飛ばしで置くというものだ。これはカフェなどの飲食店や、映画館でも良く見られるようになった。



伊豆シャボテン動物公園似て、動物のぬいぐるみでソーシャルディスタンスを保つ様子。カピバラと「相席」できるとしてアピールされている。伊豆シャボテン動物公園のホームページ(<https://izushaboten.com/news/5615/>)より画像引用

他にも店舗側の工夫は見られる。支払いが現金の見可能なサイゼリヤでは、コインの受け渡しを削減するためにすべての商品の価格を50円単位に変更した。元々はコロナ対策であったが、他にも会計にかかる時間が30%減少、個別会計は25%減少など企業にとっては嬉しい効果も見られた。さらにはきりの良い値段設定にしたことでちょうど合計1000円を目安に注文する客が増えたりと700円代前半であった客単価が上がることも期待されるという。

[4]

**PZ02** PIZZA with Triple Buffalo Mozzarella Cheese  
バッファローモッツアレラのピザ 500円 (税込550円)  
575kcal/塩分2.3g  
マルゲリータピザより  
バッファロー  
モッツアレラ 3倍  
Make Your Favorite P PIZZAチーズを  
たっぷり  
+ TP05 トッピング +100円(税込)で  
チーズ ピザチーズが2倍!

**PZ01** PIZZA with Buffalo Mozzarella Cheese  
マルゲリータピザ 400円 (税込440円)  
568kcal/塩分2.5g  
人気の  
人気  
No.1  
ミルクーな  
バッファロー  
モッツアレラ  
本年のモッツアレラチーズを使用した、シンプルなピザです。

**PZ03** PIZZA with Bacon  
パンチェッタのピザ 400円 (税込440円)  
548kcal/塩分2.9g  
品質の高いマダモパンチェッタの旨みと、香ばしい香り。  
**PZ08** 半熟卵の  
パンチェッタのピザ 450円 (税込495円)  
736kcal/塩分3.1g

**PZ04** PIZZA with Mushroom & Vegetable Salsa  
野菜ときのこのピザ 400円 (税込440円)  
593kcal/塩分2.9g  
特製野菜ソースと香るきのこのピザ。

**PZ05** PIZZA with Rocket & Anchovy  
アンチョビとルーコラのピザ 400円 (税込440円)  
543kcal/塩分4.7g  
アンチョビの旨みとルーコラの香り。  
おつまみに  
ぴったり!

**PZ06** Corn PIZZA with White Sauce  
たっぷりコーンのピザ 400円 (税込440円)  
669kcal/塩分2.8g  
お子様に  
人気!  
お子様が大好きなスイートコーンをたっぷりせて。  
ホワイトソース

**PZ07** "TARAKO" Sauce PIZZA with White Sauce  
たらこクリームピザ 400円 (税込440円)  
615kcal/塩分3.3g  
特製たらこソースの旨みと香り。みんなでとりわけて。  
おやつにも!

## サイゼリヤの電子メニューよりスクリーンショット

サイゼリヤのコロナへの工夫はこれに留まらない。先日、食事用マスク「しゃべれるくん」を作ったと記者会見を開き、会社のYouTubeチャンネルでも店内の使用を呼びかけている。作りとしてはシンプルだ。客が使用しているマスクを鼻の位置に上げ、折りたたんだ紙ナプキンを引っ掛けて口の前に垂らすといったものだ。どちらかというフェイスシールドに近いと言える。飛沫感染予防には一定、の効果がありそうだが、食事さえも心から楽しめないのか、と少し悲しい気持ちにもなる。



【公式】サイゼリヤから 食事中マスク使用のお願い よりスクリーンショット

ひとりひとりの意識が景色を変える場合もある。都心暮らしには欠かせない電車だが、最近では空席があっても立つ人の姿が目立つ。それぞれの意識でソーシャルディスタンスを守っているのだろう。また、席に余裕があるときには、座席の区切りをまたいで座ることで隣の人と距離をとる、これまでになかった座り方も見られる。コロナ以前の、より多くの人が座席に座ることができるのが良しとされた頃、座席の区切りのない車両はどうしても人の間隔が空いてしまい非効率的であったが、それぞれの判断でソーシャルディスタンスを調整できるという意味でコロナ以後社会においては極めて合理的と言えるだろう。

## 2.実践



コロナ渦で「おうち時間」が増え、授業も会議もオンラインで行われるようになり、「家から出ないのに化粧をするのが面倒、着替えるのも面倒」と感じる人が増えているようだ。この悩みを、zoomの背景デザインならぬ『前面デザイン』で解決できないだろうかと考え、Snap CameraとLens Studioを用いて「すっぴんがバレない前面デザイン」と「着替えなくても"着替えている"と装える前面デザイン」の作成を試みた。

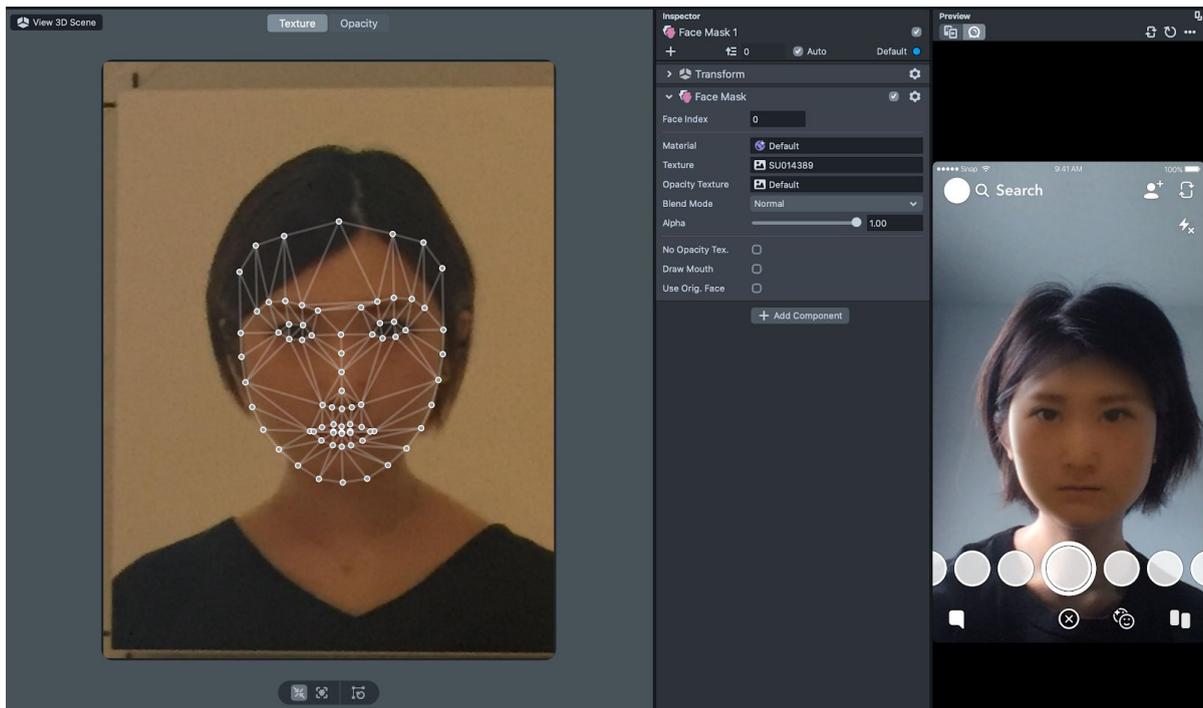
## —Snap Camera / Lens Studio とは—

Snap Cameraとは、コンピューターに内蔵されているカメラと同期させ使用するカメラエフェクトアプリのことだ。そして、Lens Studioとは、そのSnap Cameraのエフェクトをオリジナルで作ることができるアプリである。Lens Studioを使えば、自分の好きなカメラエフェクトを作成し、Snap Cameraで使うことができるのだ。

### 2-1

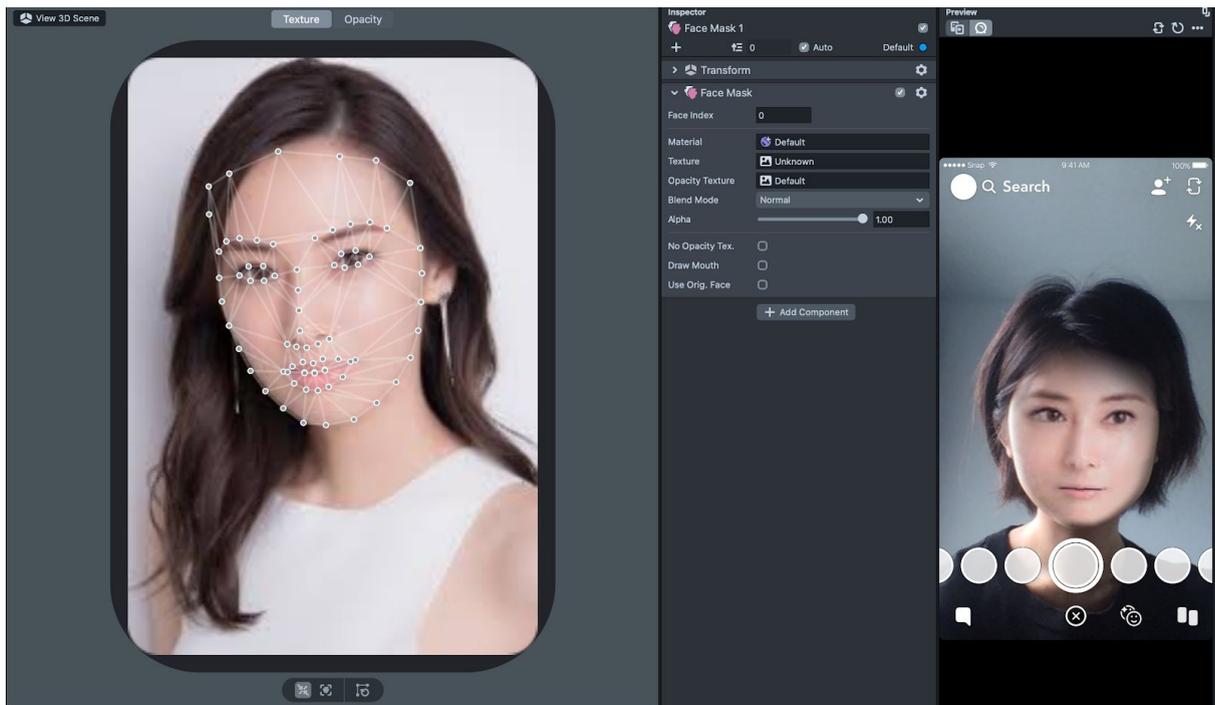
まずは、「すっぴんがバレない前面デザイン」の実践である。

#### 2-1-1 自分の顔



最初に、私自身が化粧をしている顔写真を利用したエフェクトを作成した。自分自身が化粧をした顔ならば、違和感なく使用することができるだろうと考えたが、利用した顔写真の画質が荒かったため、肌がくすみ、化粧している顔なのに華やかに見えないという問題が起こった。また、顔と首の色が一違うため、自分の顔なのに違和感がある見た目になってしまった。

#### 2-1-2 北川景子



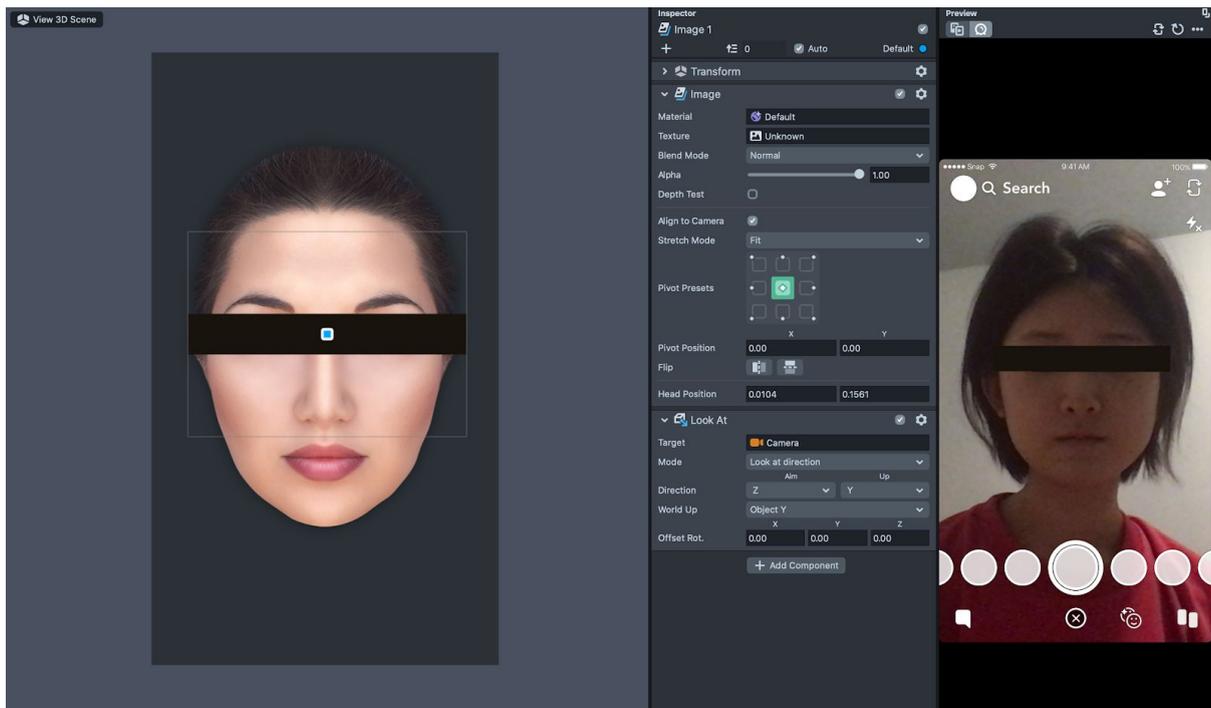
どうせ自分の顔でさえも違和感を感じるのなら、別人の顔でもいいのではないかと考え、北川景子さんの顔面を拝借してエフェクトを作成した。思ったより違和感はないが、本人の顔ではないというのがあからさまにバレてしまうため、現実的に使えるものではないだろう。

### 2-1-3 トモダチ



はたしてオンライン会議で顔を出す必要があるのかと思い、ふざけ半分で作った20世紀少年のトモダチのエフェクトである。試しに利用してみたが、もはや化物である。笑うとしっかりと口が開くせいで、さらに不気味さが際立っている。もし、ハロウィンがオンライン開催推奨になったら使うかもしれないが、それ以外に使える機会はほぼないだろう。

### 2-1-4 目隠し



最低限どこまで顔が見えていけばいいのだろうかという疑問に思い、目元だけ隠したカメラを作成したが、犯罪者っぽくなってしまった。映画パラサイトのポスターを彷彿とさせる。

## 2-2

「すっぴんがバレない前面デザイン」を作成するのは非常に難しいため、「着替えなくても"着替えている"と装える前面デザイン」に移行しよう。

### 2-2-1 Vネック半袖



家にはない服でも、前面デザインなら着ることができると考え、ネットからランダムで選んだ服を使用してカメラを作成した。しかし、襟元から自分のパジャマが見える、首と肩を合わせるのが難しいなどの問題が発生した。これでは着替えていないのがバレてしまうどころか、不自然すぎて話にならない。

### 2-2-2 Vネック長袖



違うVネックのブラウスならどうかと考え作成したが、やはり首と肩を服に合わせるのが非常に難しい。また、画像も粗かったため、これでは前面デザインを使用しているのがばれてしまうため、意味がない。

### 2-2-3 タートルネック



Vネックだと首と肩を合わせるのが難しいということが分かったため、首の場所を固定しやすそうなタートルネックでエフェクトを作成した。しかし、今度は首の太さが合わない、襟部分と首を合わせようとすると肩が合わないという問題が発生した。

#### 2-2-4 自分の服(半袖Tシャツ)



最後に自分が着た服でエフェクトを作成した。自分が着た服を貼り付けているのため、首と肩の位置が合うのは当たり前ではあるが、おかげで全く違和感なくエフェクトを使用できている。これだけ上手くエフェクトを作れるのであれば、自分が着た服で3~4個エフェクトを作成し、PCのカメラ自体をワードローブ化すればすればいいのではないかという知見を得られた。

参考文献

[1]新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する情報

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/tosei/news/2019-ncov.html>

[2]WHO Coronavirus Disease (COVID-19) Dashboard

<https://covid19.who.int/>

[3]新型コロナウイルス 日本国内の最新感染状況マップ・感染者数

<https://newsdigest.jp/pages/coronavirus/>

[4]サイゼリヤ、社長も驚く「1円値上げ」の成果 50円単位の設定でコイン受け渡しを大幅削減

<https://toyokeizai.net/articles/-/366926>